文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

あなたのキャリアを応援する11の方法

11 Ways to Support Your Career

支援制度ガイドBOOK

学校法人日本医科大学
しあわせキャリア支援センター

研究者の皆様へ
この冊子を手に取られたあなたへ

こんにちは、しあわせキャリア支援センターです。

私たちは、学校法人日本医科大学に所属する教職員の働く環境の整備とキャリア継続の支援に取り組んでいます。これらの取り組みに加え、2019年度からは文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択されたことを受け、特に女性研究者に向けた支援の幅を広げています。

この冊子は、よりよい働き方とキャリア形成をサポートする取り組みについてご紹介しています。ご自身に合った支援が見つけられること、また、皆様と共に働く方々にお知らせいただけることにお役立てていただければ幸いです。

文部科学省
科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」について

女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げたものです。本学では 2019 年度に牽引型として採択され、日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー(株)が連携してこの目的に向かって取り組みを進めております。

学校法人日本医科大学
理事長　坂本篤裕

学校法人日本医科大学では2015年に女性医師・研究者支援室を設置し、女性医師・研究者の育児、介護等との両立支援と研究支援を行ってきました。さらに、女性医師を中心に法人職員の多様性を大切にしてしあわせにキャリアを築くことができる環境実現を目指し、2019年4月に組織編成を行い、名称を「しあわせキャリア支援センター」といたしました。

ライフイベントに関わらず安心して研究に取り組めるための支援を実施し、すべての女性研究者がいきいきと活躍できることを目指します。ここから、多様な価値観を認め合い、性別を問わず力を発揮することのできる組織として発展していきます。

学校法人日本医科大学
しあわせキャリア支援センター
センター長　土佐眞美子

しあわせキャリア支援センターは一人ひとりの個性が尊重され、組織の目標に向かって存分に力を発揮できるような職場環境の整備と、キャリアを継続するための支援に取り組んでまいりました。今回の補助事業の採択はこの取り組みを強く後押しするものとなります。この機会に本学にふさわしい支援について、皆様とともに考え、誰もが活躍できる環境づくりを一層進めてまいりたいと思います。

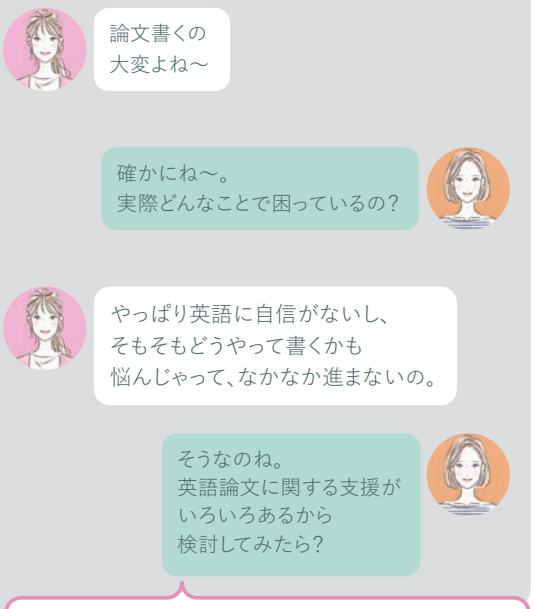
今回お届けする冊子は、現在提供している様々な支援を一覧にしてわかりやすくまとめたものです。皆様のキャリア形成をサポートするための一冊としてご活用ください。

しあわせキャリア支援センターのあゆみ

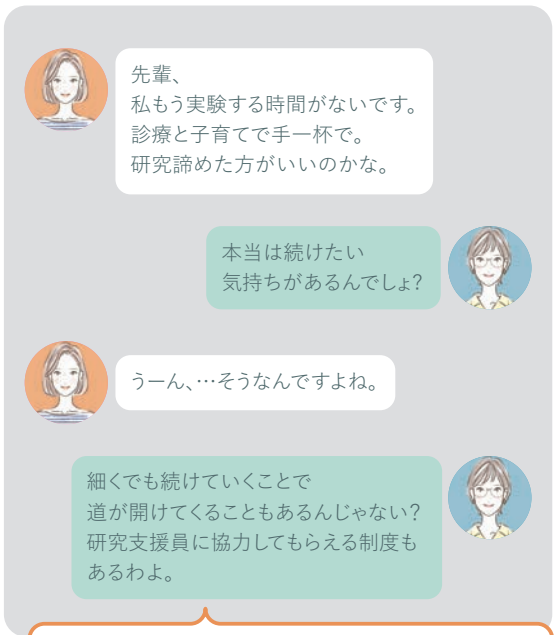
2015 年　女性医師・研究者支援室を日本医科大学弥生 2 号館 3 階に開設
2016 年　ベビーシッター派遣病児保育支援事業の導入
2017 年　研究支援員配置制度の導入
2019 年　「しあわせキャリア支援センター」に名称変更
　　日本医科大学図書館 1 階に移転

あなたにぴったりの支援をみつけよう

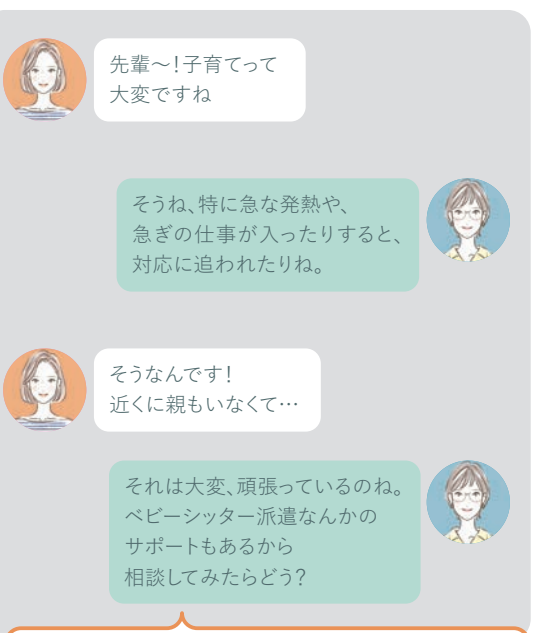
しあわせキャリア支援センターでは、多様性に富んだ人々が活躍するため、
さまざまな支援を行っています。思い当たるものがあれば、関連ページをチェック！



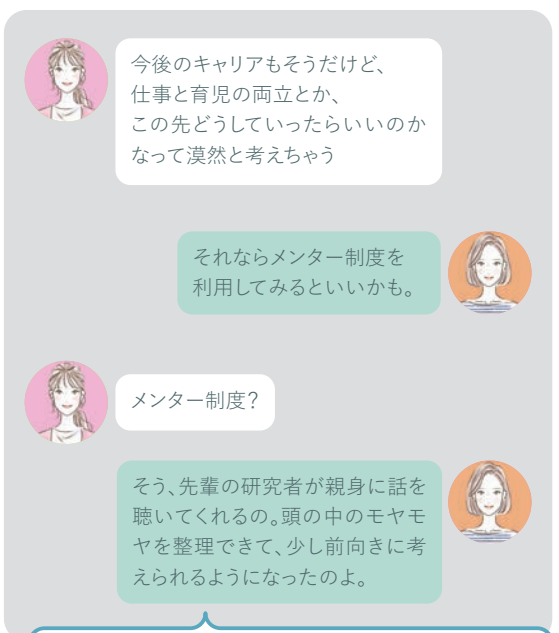
→ P.3 論文、外部資金獲得などへ



→ P.4 研究支援員の配置へ



→ P.4 保育の支援へ



→ P.5 One Health メンター制度へ

1 研究力向上に
かかわる支援

研究を充実させたい

自分の思い描くキャリアの実現を目指してほしい、
そのような思いで
研究力向上に向けた支援を行っています。

1 共同研究費の補助

日本医科大学、日本獣医生命科学大学に所属する女性研究者が代表となる
医学・生命科学領域の共同研究を公募し補助する制度で、共同研究にかかる研究費として
1件につき100万円を補助する。ダ M V

2 英文校閲費用の助成

日本医科大学と日本獣医生命科学大学は、女性研究者の研究力向上とキャリアアップを
推進することを目的として、学術雑誌への投稿論文の英文校閲にかかる費用を助成している。ダ M V

3 留学の支援

女性研究者の研究力向上の一環として、留学経験者のインタビューやアドバイザー制度、
助成金・留学先の情報提供などにより留学の促進を支援する。ダ M V

4 論文、外部資金獲得など

英語科学論文の書き方講座 ダ M V A
研究力向上を目指す女性研究者、論文執筆経験の少ない若手の研究者、さらに論文指導をする
立場の研究者に向けた英語科学論文執筆に役に立つ講座を動画で配信している。

外部資金獲得に向けた支援 ダ M V
女性研究者を対象とした科研費申請書の添削を支援する。

英語プレゼンテーション講座 ダ V
ネイティブ講師によるオンライン個別英会話レッスンと
eラーニングを活用した英語学習を実施する。

ダ…ダイバーシティ補助事業で実施する事業　し…しあわせキャリア支援センターで実施する事業
この制度を利用できる所属機関　M…日本医科大学　V…日本獣医生命科学大学　A…アンファー株式会社

2 ライフイベントと研究の両立に関する支援

キャリアを継続したい

育児や介護などのライフイベントと
研究を継続できる環境作りを
目指しています。

5 保育の支援

夜間・早朝保育、休日保育、病児・病後児保育を利用する際の制度

①ダイバーシティ補助事業で実施する制度 ダ M V

保育施設又はベビーシッター会社及び市区町村で行っている
ファミリー・サポート・センターのサービスの保育を利用する際に、
その利用料金の一部を補助することにより、研究活動と育児との両立を支援する。

②しあわせキャリア支援センターが実施する制度 し M V

(株) マザーネットのベビーシッター派遣を受けられ、そのサービス利用料金の一部を補助する。

病児・病後児保育に限らず、就労に必要な保育を利用する際の制度

ベビーシッター派遣事業割引券の発行 し M V

内閣府の「ベビーシッター派遣事業」を利用して実施。就労のため自宅にてベビーシッター
派遣サービスを利用する場合に利用可能な割引券を発行する。

6 研究支援員の配置

育児・介護などのライフイベントにある研究者が研究支援員による研究支援を受けられる制度。

①ダイバーシティ補助事業で実施する制度 ダ M V

一週間あたり最大20時間の支援を受けられる。支援員は派遣会社より派遣される。

②しあわせキャリア支援センターが実施する制度 し M V

一週間あたり最大8時間の支援を受けられる。支援員は日本医科大学・日本獣医生命科学大学の
大学院修了者、大学卒業者、大学院生、学部生。育児・介護等の特別休暇中でも「代理監督者」を
置くことで、研究支援員を継続して配置ができる。

7 時間短縮勤務制度利用者のキャリア継続支援

時間短縮勤務制度を利用する医師のキャリア継続を支援する制度。
付属4病院にメンターを配置し相談できる体制を整え、短縮勤務から通常の就業形態への
復帰など自分の描くキャリア形成の実現を支援する ダ M

3 相談窓口、学びの機会に関わる支援

相談にのってほしい

仕事や育児、介護などで行き詰った際に、
ご自身の現状を
客観的に把握する手段としてご活用いただき、
問題解決のきっかけとなることを願っています。

8 みんなで支える しあわせキャリア相談窓口

研究者のワーク・ライフ・バランスや研究に関する悩み・問題を相談できる
産学横断型キャリア相談窓口。 ダ M V A

9 One Health メンター制度

経験を積んだ先輩研究者がメンターとして、研究やキャリア形成、進路などに関して
継続的に若手研究者を側面から支援する制度。 ダ M V A

10 教職員専用相談室

しあわせキャリア支援センターで実施する教職員向けの相談室。
研究活動と育児・介護等との両立を考える上で生じる様々な悩みに対応。 し M V

11 学びの機会

ダイバーシティを推進する講演会、マネジメント力養成講座、
プレゼンテーション力向上セミナー、研究人材育成セミナーなど多彩な講座を開催。
アーカイブス配信も実施。 ダ M V A

支援制度の詳細はこちら

https://one-health.jp/support/

ダ…ダイバーシティ補助事業で実施する事業　し…しあわせキャリア支援センターで実施する事業
この制度を利用できる所属機関　M…日本医科大学　V…日本獣医生命科学大学　A…アンファー株式会社

利用者の声

英文校閲費用の助成を利用して

（日本医科大学 / 石橋真理子先生）

私は、造血器腫瘍の多発性骨髄腫において、免疫関連分子を介した腫瘍免疫抑制機序と骨髄腫の増悪化機序の解明を中心に研究を行っています。2019 年度助成では、骨髄腫における免疫チェックポイント分子 PD-L1 を標的とした抗 PD-L1 抗体 durvalumab と免疫調節薬との併用に関する研究を、2020 年度助成では、2018 年と 2020 年に報告した 3 報の論文をもとに、骨髄腫における免疫関連分子の SLAM family 分子群の機能とそれら分子を標的とした最新の免疫治療に関しての総説を纏めました。

英文校閲費用助成を利用することで、どれだけ自分が英語論文を書けているのかという指標になり、とても参考になりました。2021 年度も応募できるように、研究と論文作成に向けて精一杯頑張りたいと思います。

保育支援を利用して

（日本医科大学 / 濱田里沙先生）

現在 1 歳の娘がおります。生後 2 か月から保育園に預け、職場復帰しました。「保育園の洗礼」を受けた娘は、月に 1 回くらいは熱を出したり、お腹を壊したりしました。

熱で呼び出されても、家に帰ると平熱で、本人は元気いっぱい、しかし、コロナ禍のため翌日は登園禁止、保育園をお休みしなければいけません。そんなときに、マザーネットの病児・病後児保育を利用させて頂きました。仕事を休まなくて良いこと、夫と「どちらが休むのか」と揉めなくて良いことに助けられています。そして何より娘がプロの方に保育をして頂ける安心感が大きいです。

今後もこのような支援が持続し、もっと多くの皆さんが利用できるようになることを願っています。

研究支援員配置制度を利用して

（日本獣医生命科学大学 / 田中亜紀先生）

1 か月半と短い期間ではありましたが、支援員の配置を受け、私の身体的および精神的負担は計り知れないほど軽減されました。

前年度に米国より帰国し、未就学児と 5 年生の子供も日本の生活や学校に慣れない中で、育児・家事と仕事の両立は困難な場面も多かったです。そのような中でも、支援員の補助があったため、学内での仕事効率が極めて上昇しました。研究活動に集中する時間が増え、学生との時間も増えたため、教育効果も著しく上がりました。

このような支援制度ができて、心から感謝申し上げます。育児中の研究者が研究しやすい環境を作って頂けることは大変嬉しいことです。今後もこのような支援が持続することを強く願います。

学びの機会を利用して

（セミナー開催時のアンケートより）

・潜在化しているスキルを知ることで自分では気づけていなかったスキルを理解することができ、今後のキャリアビジョン策定に非常に役に立った。
(リーダーシップ養成セミナー参加者)

・各自が有するバイアスですが、それに拘束されると選択の幅が狭くなり、偏りが生じると思いました。自分自身にこのような偏見があることを常に忘れずゆっくり考え、視点を変えたり、他者の意見に耳を傾けたりすることができるようになりたいと思いました。
（マネジメント力養成講座参加者）

・外部資金の獲得やクラウドファンディングの活用などの次世代的な資金の獲得方法など大変勉強になりました。
（女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト参加者）

コラム

図書の貸出を行っています

しあわせキャリ支援センターでは本棚を設置し、ワーク・ライフ・バランスや介護・育児、研究などに関する書籍の貸し出しを行っています。
一度に 2 冊まで、3 週間お貸しいたします。希望される方は当センターまでメール、電話、FAX でご連絡ください。対象は日本医科大学・日本獣医生命科学大学・アンファー株式会社の教職員です。蔵書は One health の HP よりご覧いただけます。是非お気軽にご利用ください。

支援制度の詳細はこちら

https://one-health.jp/

学校法人日本医科大学
しあわせキャリア支援センター

〒113-8602
東京都文京区千駄木1-1-5 日本医科大学図書館1階
TEL：03-3822-2131
FAX：03-5814-6986
https://www.nms.ac.jp/shien/

2022年2月　改訂